

## 製品安全データシート

## 製造者情報

会社 株式会社北村製作所  
 住所 石川県松任市専福寺町 96-1  
 担当部門 商品開発部  
 電話 076-276-3111 FAX076-276-1529  
 緊急連絡先 076-276-3111

## 総発売元

会社 仁礼工業株式会社  
 住所 東京都立川市一番町 4-63-8  
 担当部門 営業部  
 電話 042-531-2020 FAX042-531-5428  
 緊急連絡先 042-531-2020

作成 2003年2月20日  
 改訂 2005年10月4日

製品名 ふしぎテープ (白・黄)

## 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学物質名	含有量(%)	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
ポリプロピレン	70 ~ 80	6-402	—	9003-07-0
酸化チタン (IV)	3 ~ 7	1-558	○	13463-67-7
天然ゴム	7 ~ 10	非該当	—	—
酢酸ビニル重合体	5 ~ 8	6-295	—	9003-20-7
アクリル酸エステル共重合体	3 ~ 5	6-624	—	25035-69-2

## 3. 危険有害性の要約

- ◇吸入した場合
  1. 吸入すると有害である。
- ◇皮膚に触れた場合
  1. 皮膚吸収は有害である。
- ◇眼に入った場合
  1. 目を刺激する。
- ◇飲み込んだ場合
  1. 飲み込むと有害である。
- ◇燃焼生成ガス
  1. 一酸化炭素、二酸化炭素。

## 4. 応急措置

- 眼に入った場合
  1. 直ちに大量の水で少なくとも15分間洗い流す。
- 皮膚に触れた場合
  1. 直ちに大量の水で少なくとも15分間洗い流す。
  2. 汚染した衣服、靴を脱がせる。
- 吸入した場合
  1. 新鮮な場所へ移す。
  2. 呼吸停止の場合は人工呼吸
  3. 呼吸困難の場合は酸素吸入。
  4. 医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合

1. 誤飲した場合は水で口をすすぐ。
- 

## 5. 火災時の措置

### 消化方法

#### ◇消火活動装備

1. 防護服
2. 空気呼吸器
3. 循環式酸素呼吸器
4. ゴム長靴

### 消化剤

1. 散水、二酸化炭素、ドライケミカル粉、耐アルコール泡。
- 

## 6. 漏出時の措置

1. 掃除、廃棄用袋に収納し保管
  2. ダストを生じさせない。
  3. 漏洩物を完全除去、空気換気、清掃
- 

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

1. 発癌性のおそれ。
2. 粉塵の吸入を避ける。
3. 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
4. 長時間または反復の暴露を避ける。
5. 取扱後完全に洗浄。

### 保管

1. 密封
  2. 冷乾燥場所に保管
- 

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

#### ◇安全管理・ガスの検知

1. 測定器
2. 検知管

#### ◇貯蔵上の注意

1. 密封。
2. 冷乾燥場所に保管。

### 保護具

1. 局所排気または呼吸用保護具。
  2. 保護手袋。
  3. 保護衣。
  4. 安全シャワー
  5. 安全ゴーグル。
  6. 洗顔器。
- 

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : テープ色白の場合、白色の固体  
 テープ色白の場合、白色の固体
- 臭気 : わずかな臭気あり
- 密度 : 0.91
- 融点 : 160～165℃
- 沸点 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : なし

溶解度 : 水に不要

#### 10. 安定性及び反応性

引火点 : 340~400℃  
 発火点 : 400~500℃  
 爆発限界 : 情報なし  
 可燃性 : あり  
 発火性(自然発火性、水との反応性) : なし  
 酸化性 : なし  
 自己反応性・爆発性 : なし  
 粉塵爆発性 : なし  
 安定性・反応性 : なし

(注) 粉塵になり、静電気・空気等の条件が整えば、一般的には粉塵爆発の可能性はある。

#### 11. 有害性情報

皮膚腐食性 : なし  
 刺激性(皮膚、眼) : 加熱条件によっては、加熱溶融時の蒸気、ガスは眼、呼吸器等を刺激することがある。  
 感作性 : なし  
 急性毒性 : 1. マウスに安定剤を含まない粉末を8g/kg投与したが、何ら障害は認められなかった。 ※1  
 2. ラットに<sup>14</sup>Cでラベルした試料を経口投与した場合、その物質は体内に全く認められず、摂取量が完全に排出された。 ※1  
 亜急性毒性 : 知見なし  
 がん原性 : IARCの発がん性区分でグループ3(ヒトに対し発がん性について分類できない。)に分類されている。 ※2  
 変異原性 : 知見なし  
 生殖毒性 : 知見なし  
 催奇形性 : 知見なし

※1「食品用プラスチック衛生学」厚生省環境衛生局食品化学課編(講談社)

※2 IARC MONOGRAPHS Supplement No.7 Overall evaluations of carcinogenicity :  
 Au updating of IARC Monographs Volumes 1 to 42, 1987

#### 12. 環境影響情報

分解性 : 実質上生分解性なし  
 蓄積性 : なし  
 その他 : 海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

#### 13. 廃棄上の注意

1. 埋め立てる時は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はその団体に委託し処理する。
2. 焼却する時は、焼却設備を用い、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」、大気汚染防止条例等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。

#### 14. 輸送上の注意

1. 梱包材が破れないように、水漏れや乱暴な取扱を避ける。
2. 火気、高温度の物体を避ける。

#### 15. 適用法令

## ◇労働安全衛生法

施行令第18条の2 [名称等を通知すべき有害物質(MSDS対象物質)]

酸化チタン

消防法： 指定可燃物 合成樹脂類(3,000kg以上)

廃棄物の処理および清掃に関する法律： 産業廃棄物、廃プラスチック類

## 16. その他(記載事項の問い合わせ先、引用文献等)記載内容の取扱について

記載内容は、現時点で入手できる資料、データシートに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報の提供であって、保証するものではありません。

その他の関係法令：「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRT法)に該当しない。

- 引用文献：1) 化審法 化学物質 通商産業省基礎産業局化学品安全課監修  
化学工業日報社発行(1994)  
2) 労働法全書 労働省監修 労務行政研究所発行(2001)  
3) ISO環境マネジメントシステム環境保全基準  
第一法規出版発行(2001)